

令和5年度

病院プラン結果概要
(大阪府・三島二次医療圏)

Contents

① 令和5年度病院プラン結果

- (1) 病院プランの提出状況
- (2) 病床機能別病床数
- (3) 府の報告基準に基づく報告との一致率
- (4) 病院機能分類結果概要

② 将来のあるべき医療体制に向けて

- (1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

① 令和5年度病院プラン結果

(1) 病院プランの提出状況

(2) 病床機能別病床数

(3) 府の報告基準に基づく報告との一致率

(4) 病院機能分類結果概要

① (1) 病院プランの提出状況

すべての病院から病院プランが提出されている

● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	22	22	100%
公的	51	51	100%
民間等	392	392	100%
合計	465	465	100%

● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	7	7	100%
②急性期病院	101	101	100%
③急性期ケアミックス型病院	120	120	100%
④地域急性期病院	33	33	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	78	78	100%
⑥回復期リハビリ病院	14	14	100%
⑦慢性期病院	110	110	100%
⑧分類不能	2	2	100%
合計	465	465	100%

① (1) 病院プランの提出状況

圏域においても、すべての病院から病院プランが提出されている

● 病院プラン提出状況（公民別）

公立・公的・民間等	対象病院数	提出病院数	提出率
公立	0	0	—
公的	7	7	100%
民間等	24	24	100%
合計	31	31	100%

● 病院プラン提出状況（病院機能分類別）

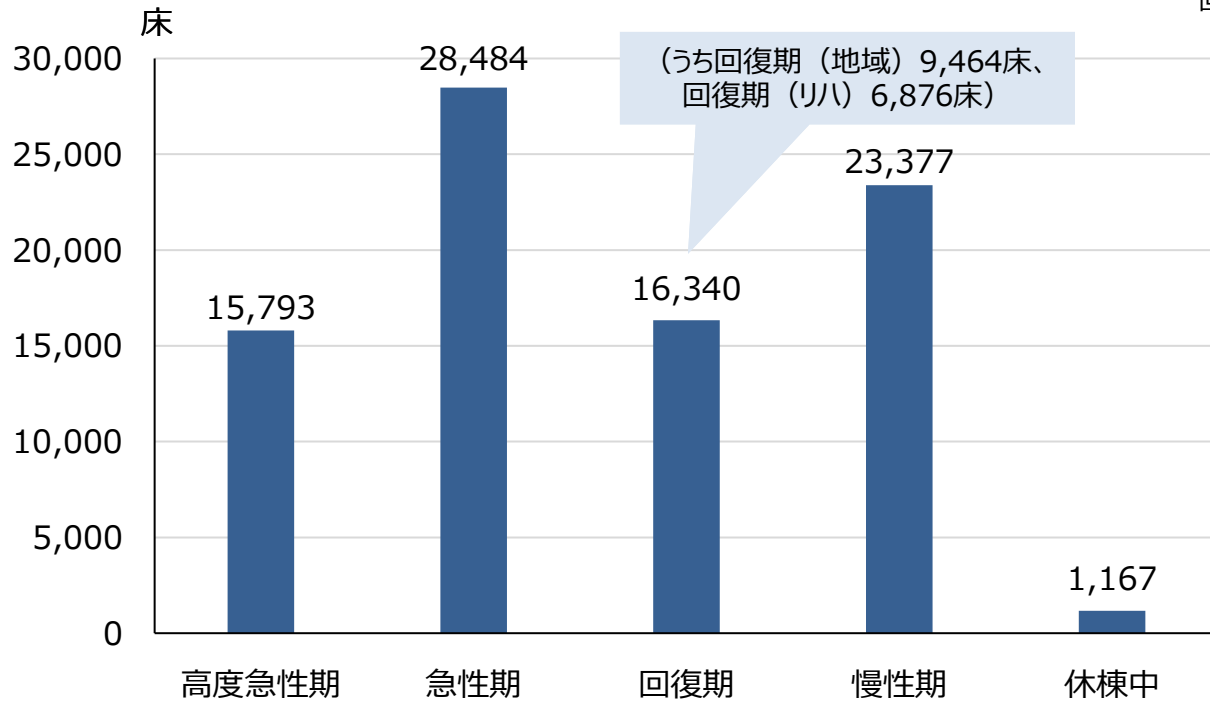
病院機能分類	対象病院数	提出病院数	提出率
①特定機能病院	1	1	100%
②急性期病院	8	8	100%
③急性期ケアミックス型病院	8	8	100%
④地域急性期病院	2	2	100%
⑤後方支援ケアミックス型病院	7	7	100%
⑥回復期リハビリ病院	0	0	—
⑦慢性期病院	5	5	100%
⑧分類不能	0	0	—
合計	31	31	100%

参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

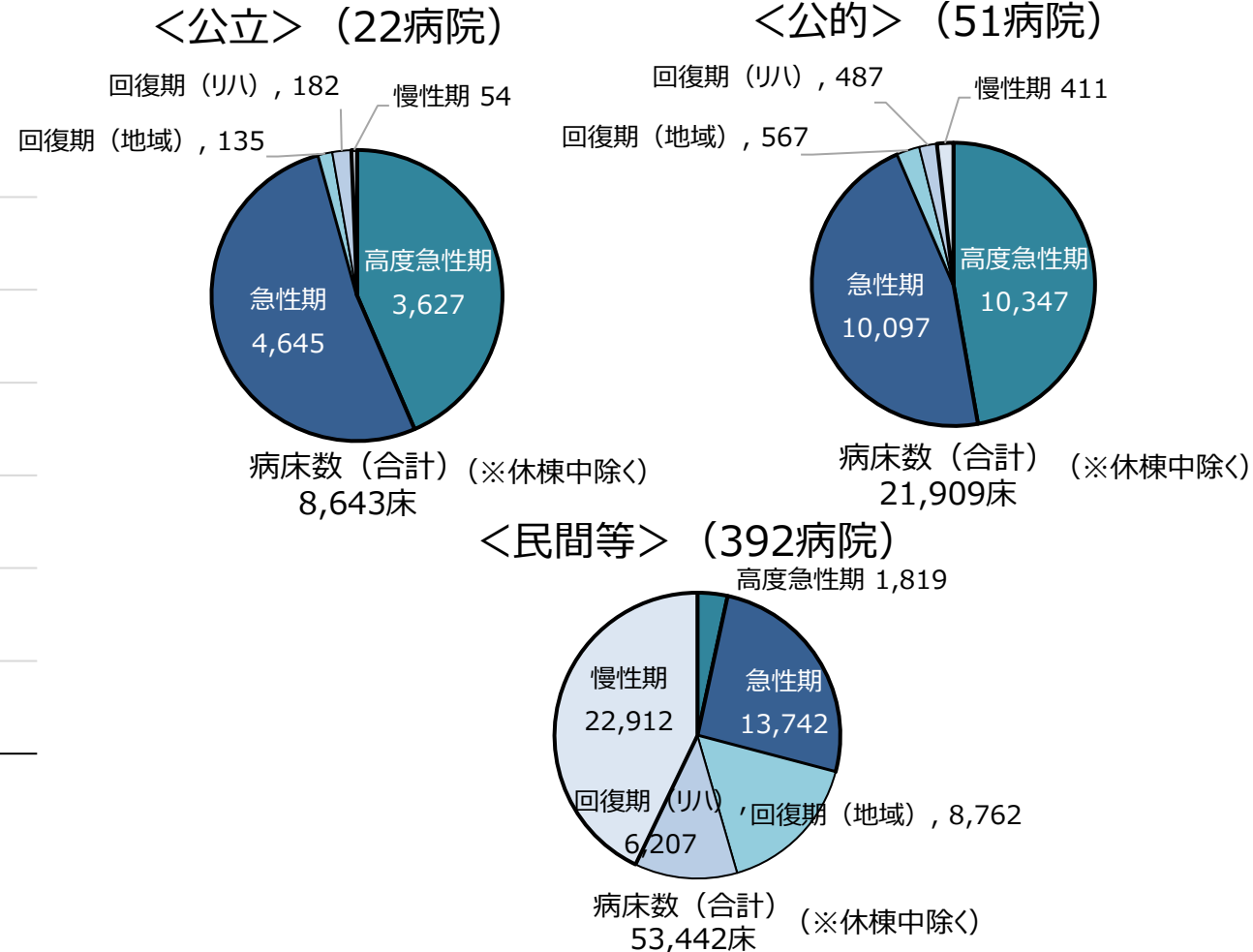
① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

病床機能は、公立・公的病院では急性期および高度急性期、民間等病院では慢性期および回復期の割合が高くなっている

● 病床機能別病床数



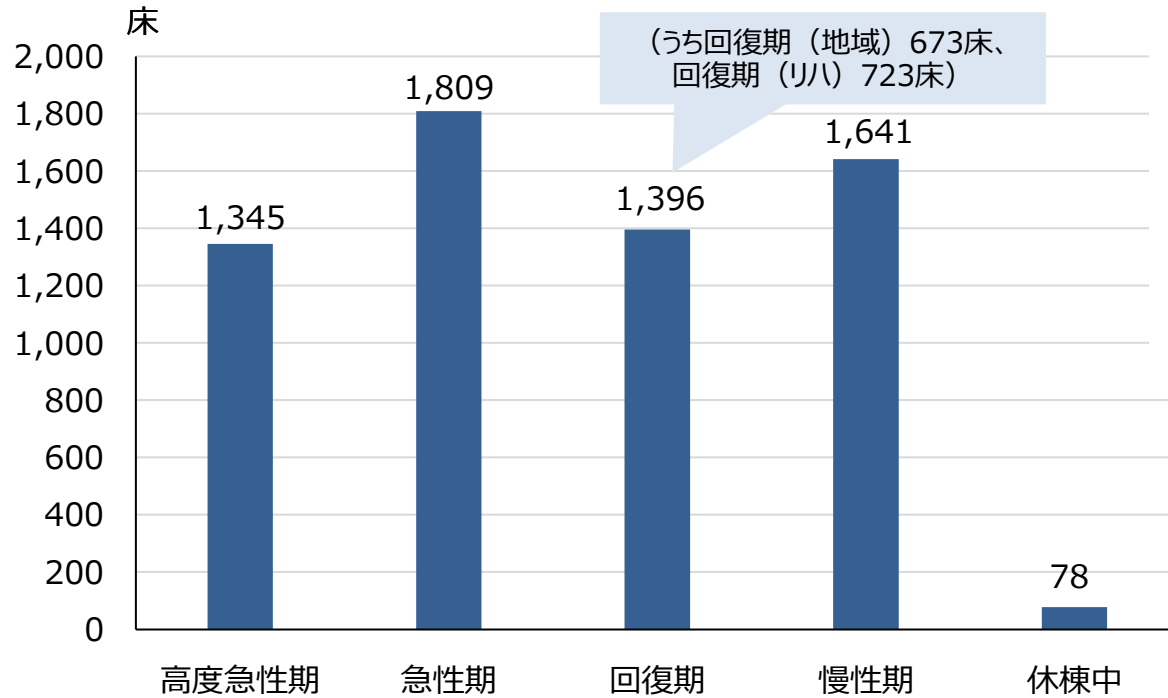
● 病床機能別病床数の割合 (公民別)



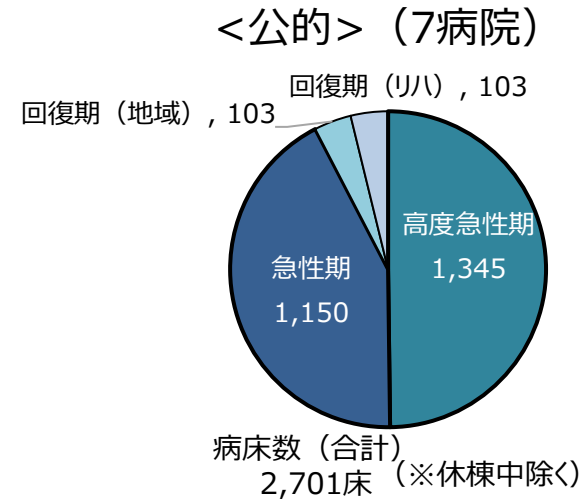
① (2) 病床機能別病床数(公民別の結果)

圏域においても、病床機能は、公的病院では高度急性期および急性期、民間等病院では慢性期および回復期の割合が高くなっている

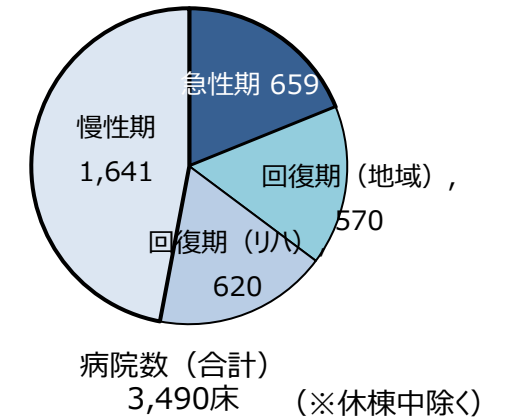
● 病床機能別病床数



● 病床機能別病床数の割合 (公民別)



<民間等> (24病院)



① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、医療機関あたりの病床機能の一致率は
府全体は約91%、三島二次医療圏では約87%となっている

● 病床機能の報告 二次医療圏別 病院の報告基準一致率 (有するすべての病棟の報告について府の基準と一致しているか。)

二次医療圏	医療機関数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/((A)-(C))	未提出 医療機関数
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告*	基準に係る項目 の報告不備*	全病床 休床中(C)		
豊能	43	40	3	0	0	93.0%	0
三島	31	27	2	2	0	87.1%	0
北河内	56	55	0	0	1	100%	0
中河内	31	30	0	1	0	96.8%	0
南河内	36	35	1	0	0	97.2%	0
堺市	38	36	2	0	0	94.7%	0
泉州	57	50	5	1	1	89.3%	0
大阪市	173	148	23	3	0	85.5%	0
北部	38	29	8	2	0	76.3%	0
東部	62	57	5	0	0	91.9%	0
西部	27	22	5	0	0	81.5%	0
南部	46	40	5	1	0	87.0%	0
合計	465	421	36	7	2	90.9%	0

※「基準に基づかない報告」と「基準に係る項目の報告不備」では重複している病院あり

参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

① (3) 二次医療圏別 府が設定した報告基準の一致率

府が設定した病床機能の基準に対し、病棟あたりの病床機能の一致率は
府全体では約96%、三島二次医療圏では約97%となっている

● 病床機能の報告 二次医療圏別 病棟別の報告基準一致率

二次医療圏	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				一致率 (B)/((A)-(C))
		基準に基づく 報告(B)	基準に基づかない 報告	基準に係る項目 の報告不備	休棟中(C)	
豊能	237	223	6	0	8	97.4%
三島	155	148	3	2	2	96.7%
北河内	235	232	0	0	3	100%
中河内	138	136	0	1	1	99.3%
南河内	153	151	2	0	0	98.7%
堺市	215	208	3	0	4	98.6%
泉州	214	203	6	1	4	96.7%
大阪市	790	722	49	4	15	93.2%
北部	199	171	24	2	2	86.8%
東部	248	229	11	0	8	95.4%
西部	136	125	9	0	2	93.3%
南部	207	197	5	2	3	96.6%
合計	2,137	2,023	69	8	37	96.3%

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率①

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/((A)-(C))
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づ かない報告	基準に係る 項目の報告 不備	休棟中 (C)		
救命救急入院料 1～4 特定集中治療室管理料 1～4 ハイケアユニット入院医療管理料 1～2 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料 小児特定集中治療室管理料 新生児特 定集中治療室管理料 総合周産期特定集中治療室管理料 新生児治療回復室入院医療管理料	高度急性期	266	266	0	0	0	2,437	100%
回復期リハビリテーション病棟入院料	回復期	154	154	0	0	0	6,876	100%
療養病棟入院基本料 療養病棟特別入院基本料	慢性期	339	339	0	0	0	16,077	100%
介護療養病床	慢性期	5	5	0	0	0	205	100%
障害者施設等入院基本料	慢性期	146	145	1	0	0	6,972	99.3%
特殊疾患病棟入院料 特殊疾患入院医療管理料	慢性期	1	1	0	0	0	51	100%
特定機能病院 7対1 入院基本料	高度急性期 急性期	108	102	6	0	0	4,637	94.4%
専門病院 7対1 入院基本料		0	0	0	0	0	0	-
小児入院医療管理料 1～3		45	42	3	0	0	1,407	93.3%
小児入院医療管理料 4～5		0	0	0	0	0	0	-
急性期一般入院料 1～3		645	608	37	0	0	28,760	94.3%

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(入院料別)

府が設定した病床機能の基準に対する一致率は、入院料によってばらつきがある

● 病床機能の報告 入院料別報告基準一致率②

入院基本料・特定入院料	病床機能 (基準を設定 した機能)	病棟数 (A)	病床機能の報告状況				病床数	一致率 (B)/((A)-(C))
			基準に基づく 報告(B)	基準に基づか ない報告	基準に係る項 目の報告不 備	休棟中 (C)		
特定機能病院10対1入院基本料	急性期 回復期	0	0	0	0	0	0	-
専門病院10対1入院基本料		3	3	0	0	0	164	100%
急性期一般入院料4～6		172	155	14	3	0	7,817	90.1%
緩和ケア病棟入院料		34	32	1	1	0	758	94.1%
専門病院13対1入院基本料	急性期 回復期 慢性期	0	0	0	0	0	0	-
地域一般入院料1～2		39	36	3	0	0	1,769	92.3%
特定一般病棟入院料		0	0	0	0	0	0	-
地域包括ケア病棟入院料1～4 地域包括ケア入院医療管理料1～4	急性期 回復期 慢性期	92	89	0	3	0	3,890	96.7%
地域一般入院料3	回復期 慢性期	45	41	3	1	0	2,048	91.1%
一般病棟特別入院基本料		3	3	0	0	0	73	100%
合計		2,097	2,021	68	8	0	83,941	96.4%
診療報酬上及び介護報酬上の入院料の届出なしの病床		1					53	
休棟中		34	0	0	0	34	963	
入院料未報告等		5	2	0	0	3	204	

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

病院からの報告による病床数 (A) と報告基準に基づく病床数 (B) に 大きな差はないものの、病床機能によってばらつきがある

● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	15,793 床	15,865 床	▲72 床
急性期	28,484 床	27,325 床	+1,159 床
回復期	16,340 床	17,100 床	▲760 床
地域	9,464 床	10,224 床	▲760 床
り八	6,876 床	6,876 床	±0 床
慢性期	23,377 床	23,305 床	+72 床
休棟中	1,167 床	1,167 床	±0 床
分類不能	0 床	399 床	▲399 床
合計	85,161 床	85,161 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上

※：地域包括ケア病棟入院料については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期 (地域) として計上

① (3) 府が設定した報告基準の一致率(病床機能別)

病院からの報告による病床数 (A) と報告基準に基づく病床数 (B) において、
高度急性期、慢性期の報告数に差が生じている

● 病床機能別病床数

(「病院からの報告による病床数の合計」と「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計」)

	病院からの報告による 病床数の合計 (A)	府の報告基準に基づく 病床機能別病床数の合計 (B)	差 (A)-(B)
高度急性期	1,345 床	1,293 床	+52 床
急性期	1,809 床	1,809 床	±0 床
回復期	1,396 床	1,396 床	±0 床
地域	673 床	673 床	±0 床
り八	723 床	723 床	±0 床
慢性期	1,641 床	1,600 床	+41 床
休棟中	78 床	78 床	±0 床
分類不能	0 床	93 床	▲ 93 床
合計	6,269 床	6,269 床	±0 床

※：入院料を選択している場合でも、病床機能を「休棟中」と選択している場合は、府の報告基準に基づく病床機能においても「休棟中」で計上
 ※：地域包括ケア病棟入院料については、急性期の報告基準に該当する場合でも「回復期」として報告することは基準に基づく報告としているため、当該病床は「府の報告基準に基づく病床機能別病床数の合計 (B)」に回復期(地域)として計上

① (4) 病院機能分類結果概要

病院機能の見える化を図ることにより、今後の機能分化の議論の活性化を図る

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	7	5,544 床	4,482 床	935 床	0 床	0 床	0 床	127 床	0 床
急性期病院	101	26,190 床	8,829 床	16,487 床	191 床	45 床	114 床	524 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	120	24,651 床	2,482 床	11,062 床	3,189 床	3,366 床	4,337 床	215 床	0 床
地域急性期病院	33	2,312 床	0 床	0 床	2,209 床	0 床	0 床	103 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	78	13,108 床	0 床	0 床	3,865 床	2,061 床	7,082 床	100 床	0 床
回復期リハビリ 病院	14	1,404 床	0 床	0 床	0 床	1,404 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	110	11,902 床	0 床	0 床	10 床	0 床	11,844 床	48 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	2	50 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	50 床	0 床
合計	465	85,161 床	15,793 床	28,484 床	9,464 床	6,876 床	23,377 床	1,167 床	0 床

① (4) 病院機能分類結果概要

圏域においては、病院機能の見える化の結果を踏まえ、
地域医療構想の推進にかかる機能分化について議論していく

● 病院機能分類の結果

	医療 機関数	許可 病床数	高度 急性期	急性期	回復期 (地域)	回復期 (リハ)	慢性期	休棟中	分類不能
特定機能病院	1	863 床	706 床	113 床	0 床	0 床	0 床	44 床	0 床
急性期病院	8	1,448 床	482 床	912 床	20 床	0 床	0 床	34 床	0 床
急性期ケア ミックス型病院	8	1,897 床	157 床	784 床	137 床	367 床	452 床	0 床	0 床
地域急性期病院	2	254 床	0 床	0 床	254 床	0 床	0 床	0 床	0 床
後方支援ケア ミックス型病院	7	1,297 床	0 床	0 床	262 床	356 床	679 床	0 床	0 床
回復期リハビリ 病院	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
慢性期病院	5	510 床	0 床	0 床	0 床	0 床	510 床	0 床	0 床
分類不能 (全床休棟中)	0	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床	0 床
合計	31	6,269 床	1,345 床	1,809 床	673 床	723 床	1,641 床	78 床	0 床

(参考) 病院機能分類

- 地域に必要な医療を持続的に提供していくため、病院の役割分担による体制づくりを検討していくことが重要。
- 現在各病院が有する病床機能等から、**大阪府独自に病院の機能・役割の見える化を図るため、病院機能を分類（令和4年度より）。**

病院機能分類		分類の考え方
分類区分		
1	特定機能病院	特定機能病院
2	急性期病院	高度急性期と急性期の病床の合計割合が病床（一般・療養）の9割以上
3	急性期ケアミックス型病院	高度急性期または急性期の病床を有するが、当該病床の割合が病床（一般・療養）の9割未満
4	地域急性期病院	回復期病床（地域（リハビリ以外））の割合が病床（一般・療養）の9割以上
5	後方支援ケアミックス型病院	1～4、6、7の区分に属しない病院
6	回復期リハビリ病院	回復期病床（リハビリ）の割合が病床（一般・療養）の9割以上
7	慢性期病院	慢性期病床の割合が病床（一般・療養）の9割以上

各病院の役割の基本的なイメージ

各病院は役割に応じた機能の維持・強化を図ることが期待され、**特に、現在回復期（サブアキュート・ポストアキュート）を担っている病院は、回復期機能を強化していくことが望まれる。**

病院の主な役割	特定機能病院	急性期病院	急性期 ケアミックス型病院	地域急性期病院	後方支援 ケアミックス型病院	回復期リハビリ 病院	慢性期病院
①高度医療の提供及び研修、高度医療技術開発等	↕						
②重症患者の救急受入機能 (脳卒中・急性心筋梗塞等の高度・専門的な治療等)	↕	↕	↕				
③地域診療拠点機能 (がん、災害、小児、周産期等)				↕			
④サブアキュート機能 (大腿骨骨折や肺炎等軽度の急性期患者の受入【救急、在宅医療の後方支援機能】)	回復期機能		↕	↕	↕	↕	↕
⑤ポストアキュート機能 (回復期リハビリ患者の受入)						↕	↕
⑥長期入院が必要な患者の受入							↕

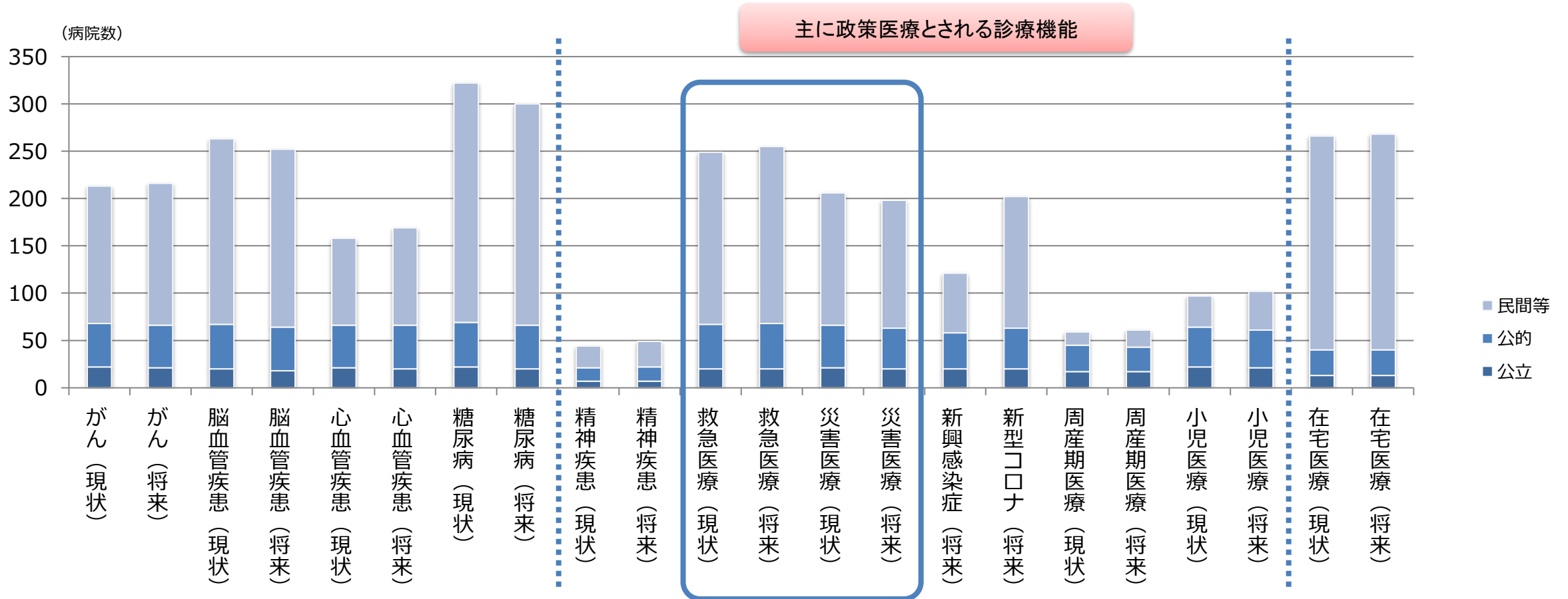
② 将来のあるべき 医療体制に向けて

(1) 2025年に各病院が検討している医療機能・病床機能等

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

主に政策医療とされる診療機能の中で、「救急医療」「災害医療」については、民間等医療機関においても多くの医療機関が機能を担っている

1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較

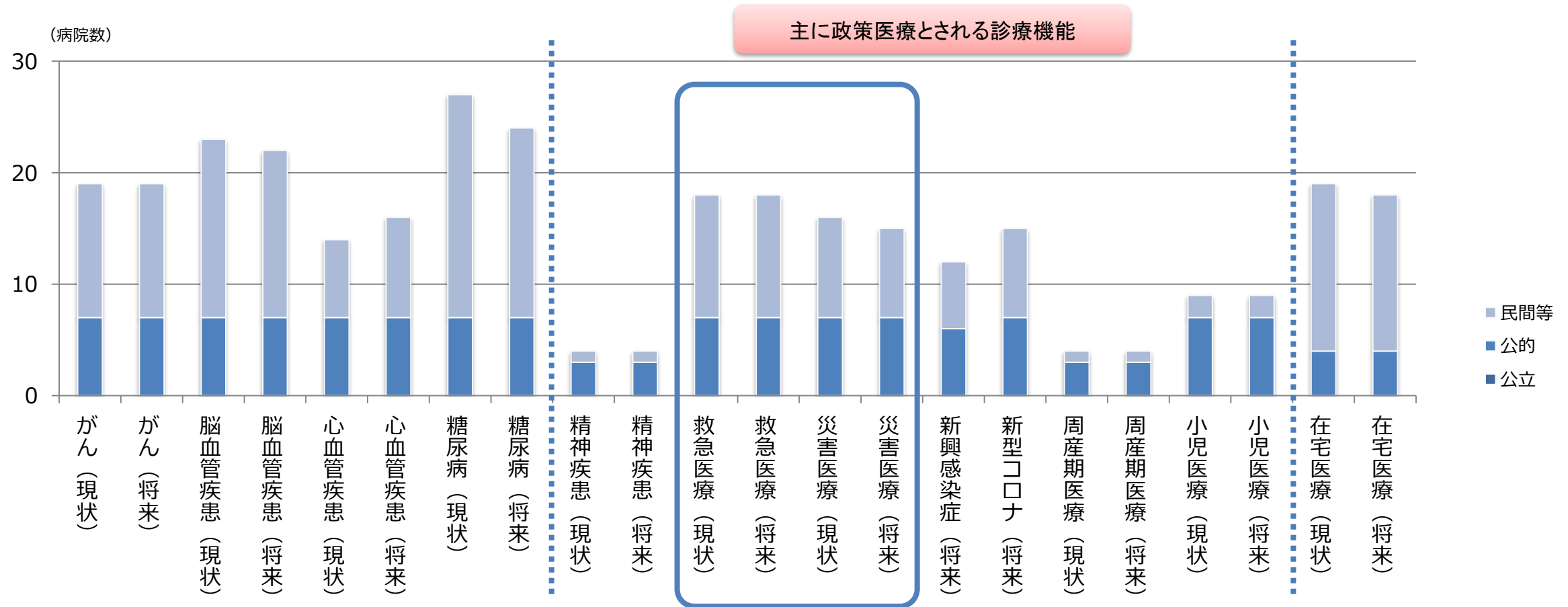


参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等①

圏域でも、「救急医療」「災害医療」は、多くの民間等医療機関が機能を担っている

1 診療機能別「現状の機能」と「2025年に向け検討している機能」の比較

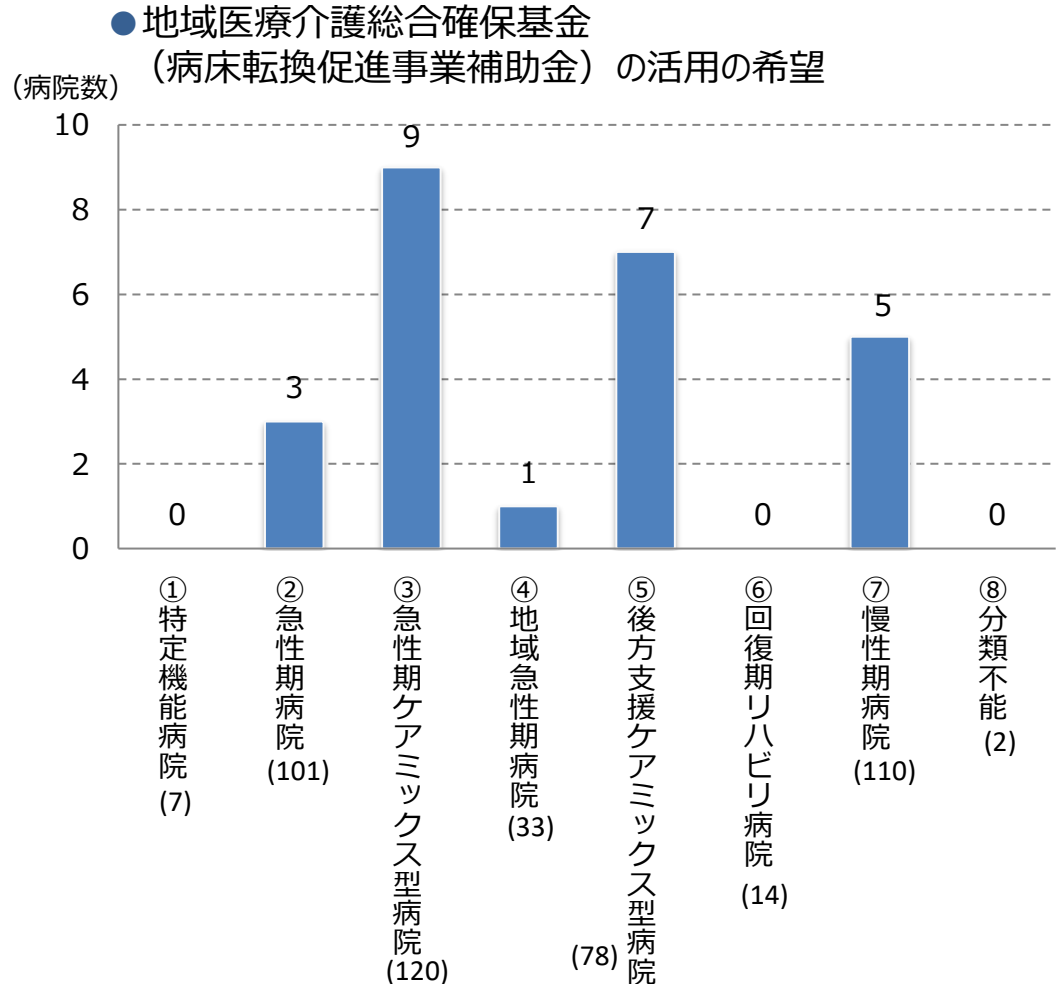
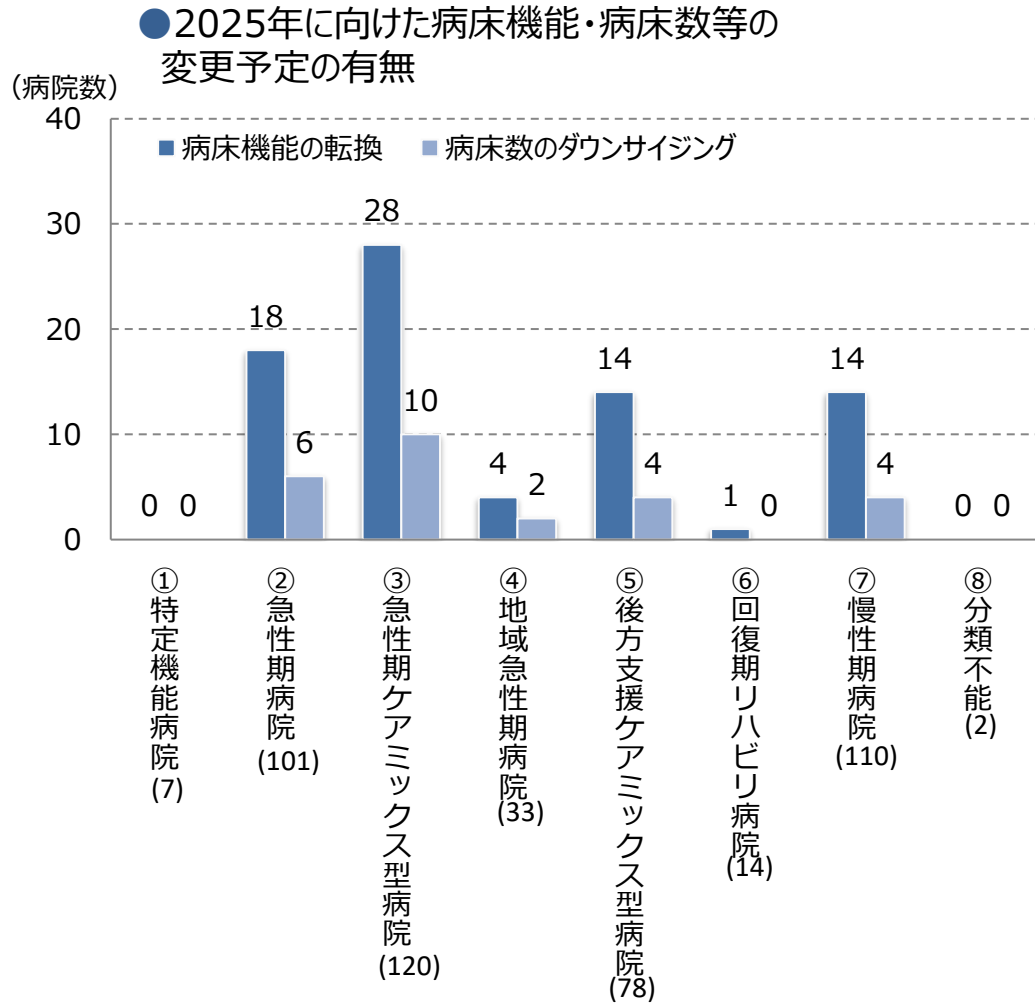


参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

2025年に向け病床機能の転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型が最も高く約23%となっている

2 今後の病院の方針①

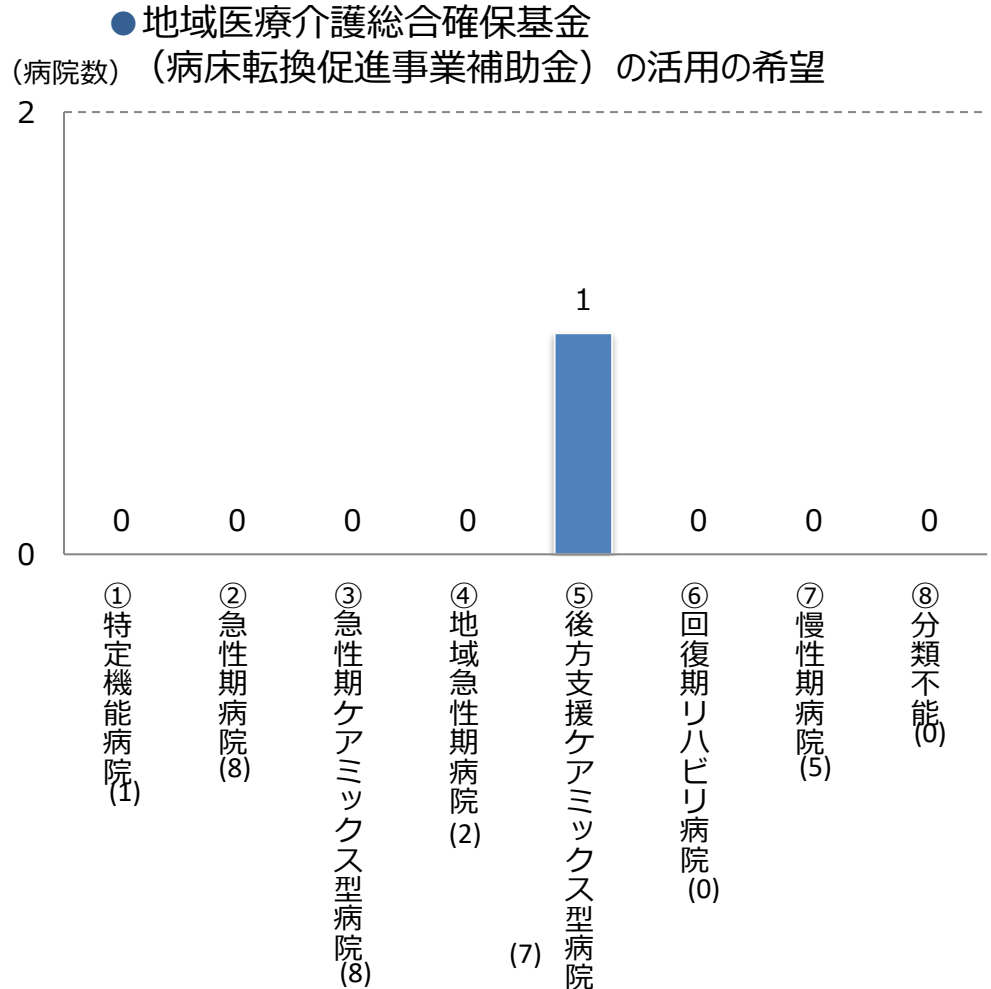
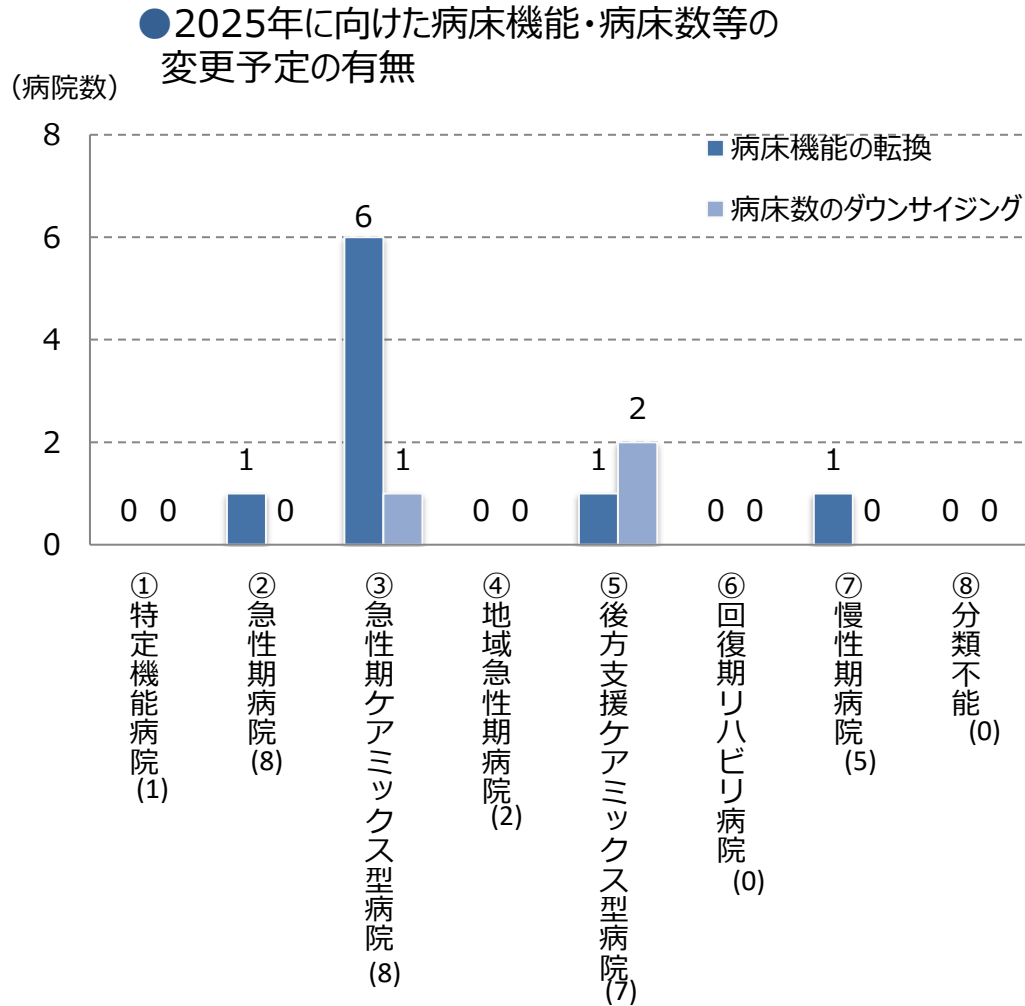


参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等②

2025年に向け転換を予定している医療機関の割合は、急性期ケアミックス型病院が最も高く75%となっている

2 今後の病院の方針①



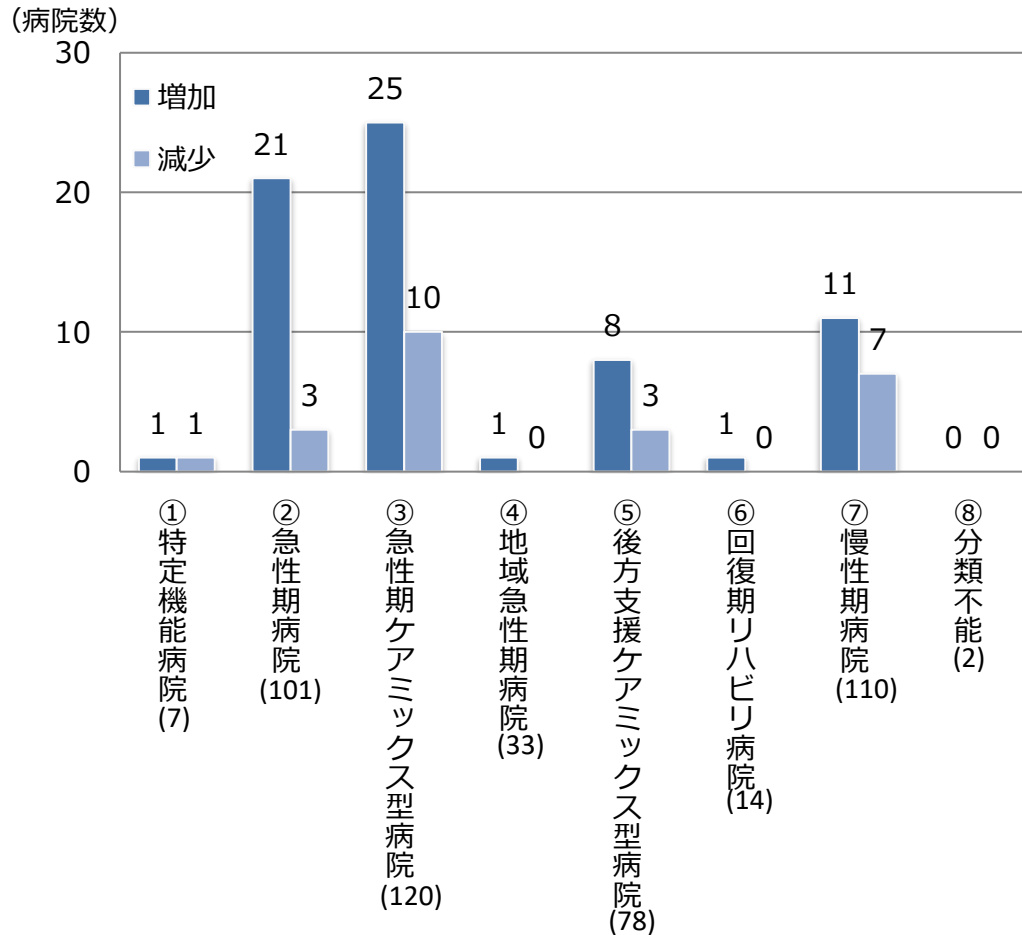
参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

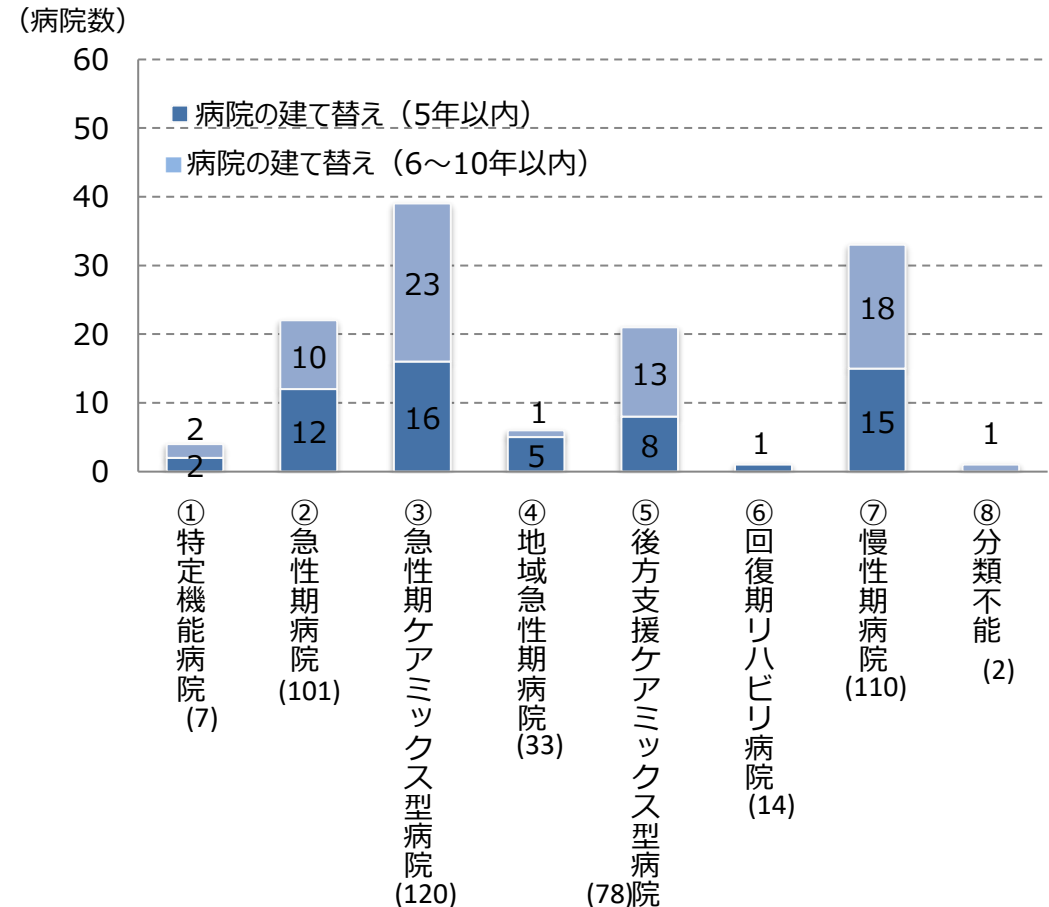
今後、10年以内に建物・設備の整備・改修を予定している医療機関は約27%である

2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無



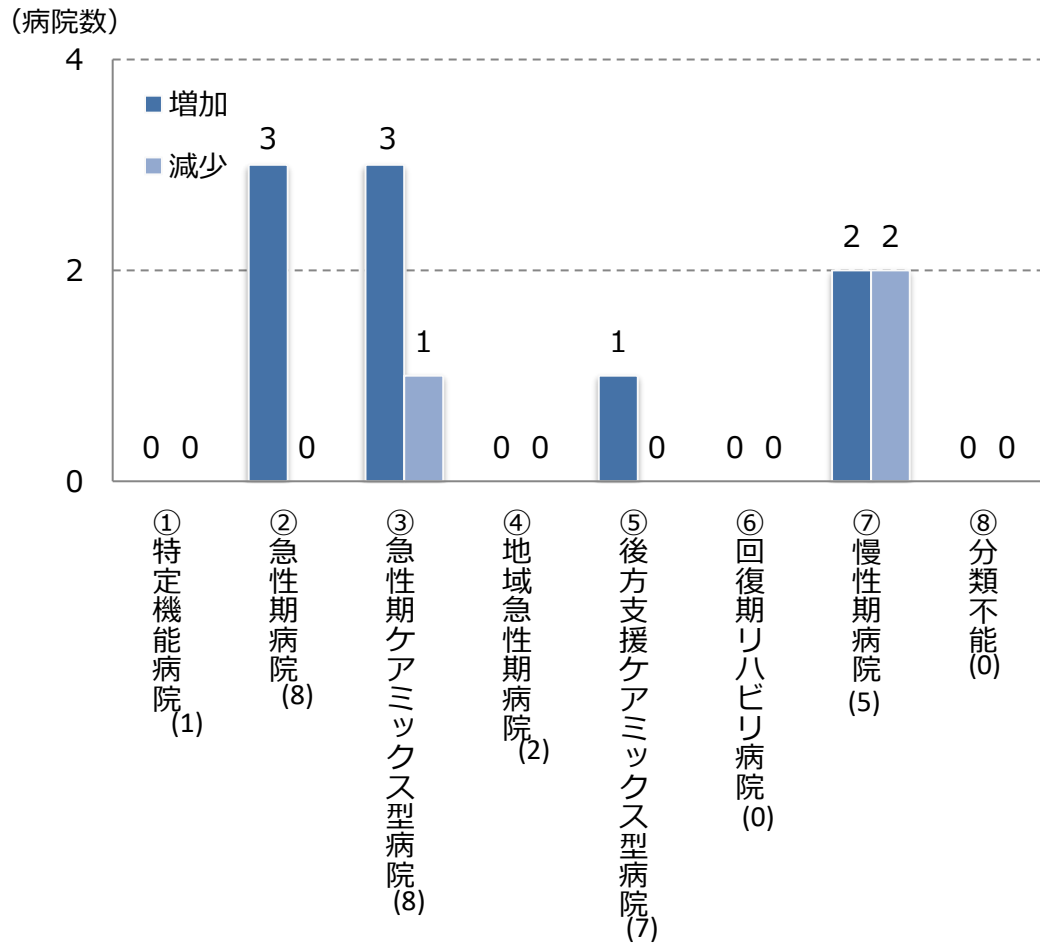
参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等③

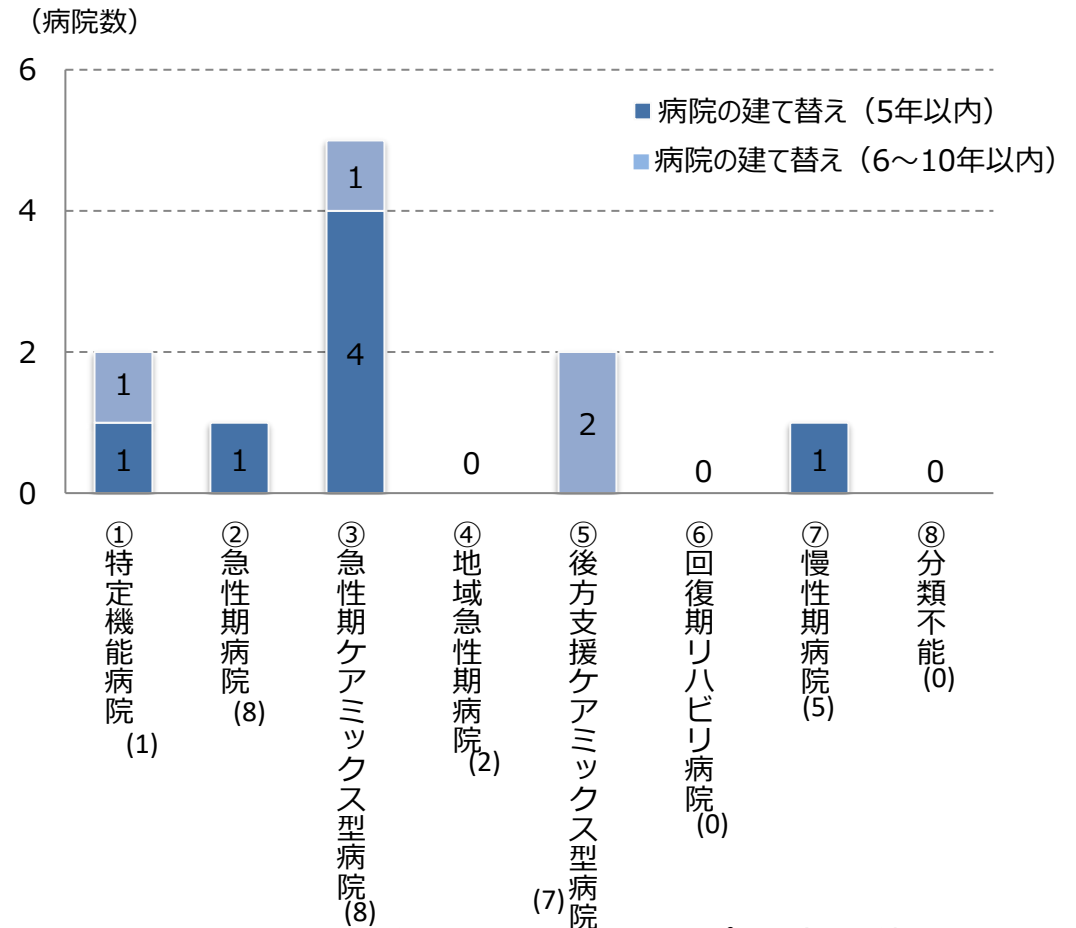
今後、10年以内に建物・設備の整備・改修を予定している医療機関は約35%である

2 今後の病院の方針②

● 2025年に向けた診療科目の見直しの予定の有無



● 2025年に向けた建物・設備の整備・改修予定の有無

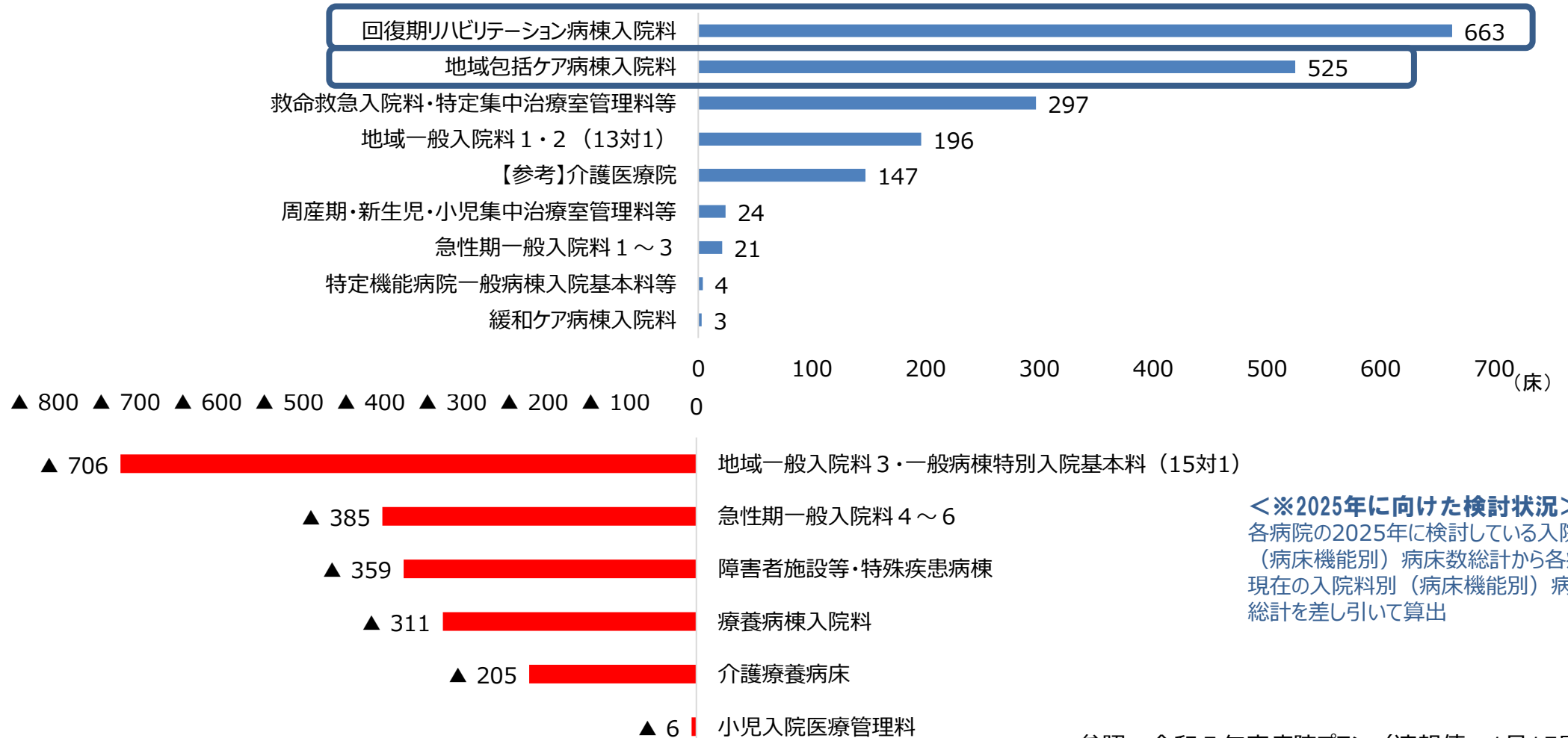


参照：令和5年度病院プラン（速報値：1月15日現在）

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

各病院が検討している病床機能等の変更は、
構想がめざす病床機能分化の方向性と概ね一致している

● 入院基本料等別の検討状況※

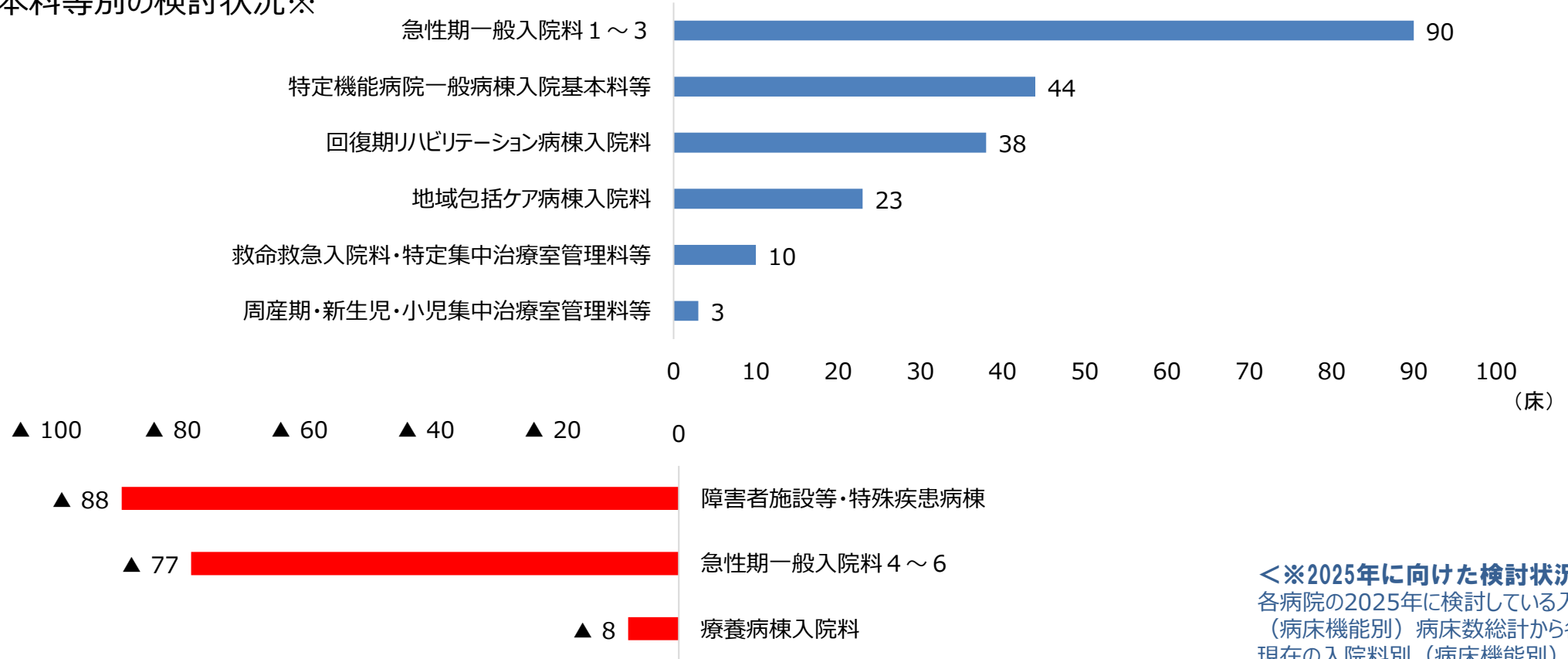


＜※2025年に向けた検討状況＞
各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等④

今後、急性期一般入院料1～3や特定機能病院一般病棟入院基本料等の増加、障害者施設等・特殊疾患病棟や急性期一般入院料4～6等の減少が検討されている

● 入院基本料等別の検討状況※



＜※2025年に向けた検討状況＞
各病院の2025年に検討している入院料別（病床機能別）病床数総計から各病院の現在の入院料別（病床機能別）病床数の総計を差し引いて算出

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

高度急性期・急性期病床への転換には、コロナ対応から通常医療への移行を検討している（人員配置の変更等）医療機関が一定数含まれている。
また、回復期リハビリ病床への転換を検討する医療機関が多く存在する。

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	4,478	4,025	243	111	132	38	12	8,796
公的	10,035	10,360	1,032	463	569	467	204	22,098
民間等	1,928	14,755	14,407	7,569	6,838	22,060	4	53,154
計	16,441	29,140	15,682	8,143	7,539	22,565	220	84,048

2025年に向けた現状（2023年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟予定	計
				地域	リハ			
公立	+ 851	▲ 620	▲ 74	▲ 24	▲ 50	▲ 16	▲ 89	+ 52
公的	▲ 312	+ 263	▲ 22	▲ 104	+ 82	+ 56	▲ 223	▲ 238
民間等	+ 109	+ 1,013	▲ 562	▲ 1,193	+ 631	▲ 852	▲ 635	▲ 927
計	+ 648	+ 656	▲ 658	▲ 1,321	+ 663	▲ 812	▲ 947	▲ 1,113

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑤

高度急性期・急性期病床の転換には、コロナ対応や建替えによる影響から通常機能に戻すことを検討している医療機関が一定数含まれている。また、回復期病床全体としてはマイナスであるが、回復期リハビリ病床への転換を検討する医療機関が一定数存在する。

● 公立・公的・民間別の検討状況

病床機能別病床数【2025年に向け検討している病床機能等】

	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟予定	計	
			地域	リハ				
公立	0	0	0	0	0	0	0	
公的	1,298	1,171	150	103	47	40	34	2,693
民間等	54	802	1,206	492	714	1,505	0	3,567
計	1,352	1,973	1,356	595	761	1,545	34	6,260

2025年に向けた現状（2023年）との病床数の増減

	高度急性期	急性期	回復期		慢性期	休棟予定	計	
			地域	リハ				
公立	±0	±0	±0	±0	±0	±0	±0	
公的	▲ 47	+ 21	▲ 56	±0	▲ 56	+ 40	▲ 44	▲ 86
民間等	+ 54	+ 143	+ 16	▲ 78	+ 94	▲ 136	±0	+ 77
計	+ 7	+ 164	▲ 40	▲ 78	+ 38	▲ 96	▲ 44	▲ 9

② (1) 2025年に向け各病院が検討している医療機能・病床機能等⑥

圏域においては、2件の再編統合が予定されている

①

医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
						(地域)	(リハ)		
社会医療法人東和会第一東和会病院	07 高槻市	243	243	0	0	0	0	0	0
社会医療法人東和会東和会いばらき病院	08 茨木市	43	0	0	0	0	0	43	0
計		286	243	0	0	0	0	43	0



再編統合予定時期	医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
							(地域)	(リハ)		
2027(令和9)年度から 2029(令和11)年度	社会医療法人東和会第一東和会病院	07 高槻市	286	243	43	0	0	0	0	0
	社会医療法人東和会東和会いばらき病院	08 茨木市	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		286	243	43	0	0	0	0	0
	増減		±0	±0	+43	±0	±0	±0	▲43	±0

②

医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
						(地域)	(リハ)		
社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院	07 高槻市	329	80	105	144	41	103	0	0
社会医療法人祐生会茨木みどりヶ丘病院	08 茨木市	144	0	60	36	0	36	48	0
計		473	80	165	180	41	139	48	0



再編統合予定時期	医療機関名	市区町村	計	高度急性期	急性期	回復期	回復期		慢性期	休棟中
							(地域)	(リハ)		
2026(令和8)年4月	社会医療法人祐生会みどりヶ丘病院	07 高槻市	200	4	68	88	41	47	40	0
	社会医療法人祐生会茨木みどりヶ丘病院	08 茨木市	273	54	119	100	0	100	0	0
	計		473	58	187	188	41	147	40	0
	増減		±0	▲22	+22	+8	±0	+8	▲8	±0